



魔法のパッド!?

ブレーキメーカー、エンドレスのブースには、網状のブレーキパッドが1つ。実はコレ、網状の金属を貼り合わせることで、軽量かつ冷却効率の高いパッドができるそう。超軽量予選スペシャルパッド、スプリント専用軽量パッドも製作可能とか。



メガーヌの特別仕様車はバトカー!?

今回一番ビックリしたのはこれ、ルノー・メガーヌRSの本国高速機動隊仕様「ジャンダルムリ」を発表、展示した。変わったのはカラーリングだけで、装備や性能はRSに準ずる。価格は389万円で、限定20台だそう。



先月撮影したときは真っ白だったのに、ペールを脱いだらフルカラーリング済み。



今年も1月10日から幕張メッセで開催された東京オートサロン。国産/輸入車、車両/パーツ問わず、数多くのメーカー、ショップ等が参加



500R3T 全日本ラリー参戦 正式発表

日本最大級のチューニング、ドレスアップの祭典である東京オートサロンが今年も開催された。ティーポとしての注目は、アバルト500R3Tの全日本参戦発表、ルノー・メガーヌRSの特別仕様車の発表、新製品/モデルファイ車両の展示と目が離せない内容となっている。

文&撮影：編集部 協力：東京オートサロン事務局



フォードGTも!

かのGT40を現代風に解釈し、2005年に限定1500台で発売されたフォードGTも展示。エンジンは5.4ℓのV8にスーパーチャージャーで武装、558PSを発揮する。

巨大な前後オーバーフエンダー&リアウイング、18インチの極太タイヤ&ホイールでキメたRKデザインのアバルト500。



シブく銀色に光るボディカラーが印象的な、N's SPEEDのN's WORKS FIAT 500。ワルい顔つきだけど、どこかかわいらしい。



以前本誌でも紹介したG-TECHのチョップドブルーのアバルト500。なかなかの迫力で注目を集めていた。



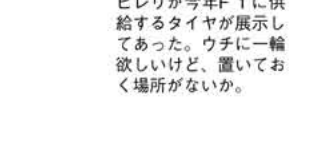
今年もスバルはニュル24時間に挑戦するそうで、参戦車両WRX STIのニュルチャレンジ仕様を展示した。



こちらはスバルR2をベースにレーシングカーを製作。作ったのは岐阜の中日本自動車短期大学の学生だそうです。



アドバンブースには、アドバンブランドのタイヤの他、スーパーGTの日産GT-Rが展示されていた。



ピレリが今年F1に供給するタイヤが展示されていた。ウチに一輪欲しいけど、置いておく場所がないか。

規模でいうと、出展社428社、出展車両840台、ブース総数3880小間と、史上最大を記録。来場者数も順調に増え、開催期間中の3日間で開催に比べ105%増の29万6714人と、もう少しで30万人の大会を達成しそうな勢い。もちろんこの人数は、前回同様過去最高を記録した。

東京オートサロンに展示されるクルマやパーツは、ティポの読者の方とはちょっと違う趣味趣向のモノも多いけど、同じクルマ好きとして共感できる部分も多く、イロイロと楽しめた。おかげで、来年のオートサロンが今から楽しみである。

先月号の巻頭特集でレポートした、ムゼオ・チンクエチェント・レーシング・チームによる、全日本ラリー参戦計画がいよいよ正式に発表された。発表の場は東京オートサロン2014。会場には多くのプレスが押し掛け、なかなかの盛況ぶりを窺わせた。

参戦車両はもちろんアバルト500R3T。ラリー参戦を前提として開発された、生粋のラリーマシンである。

先月号ではホワイトボディでの登場だったが、会場ではアバルトのワークスカラーを身に纏い、来場者の目を魅しませている。

又こちらも先月号で触れたが、3月をメドにアバルトのレーシングカー専用デイトナ、ムゼオ・チンクエチェント・レーシング・ディーラーが設立される。こちらではこのR3Tをはじめ、アセットコルサ、フォーミュラアバルトなどが販売されることだ。

発表の場となった東京オートサロンの方とはいうと、ルノー・メガーヌRSの限定車、フランス高速機動隊仕様「ジャンダルムリ」が発表されたり、メーカーの新製品やコンセプト商品、モデルファイカーやドレスアップカーが数多く展示されていた。



MUSEO CINQUECENTO RACING DEALER

ムゼオ・チンクエチェント・レーシング・チームに続き、ムゼオ・チンクエチェント・レーシング・ディーラーの発足も発表された。ここでは、レーシングカーの販売の他、スーパー耐久で使用しているホイールやノベルティなどのレーシングギアを随時リリースする予定とのことだ。